

ブックカフェ 〆〆ノ テラチ

第七回 戦後と向き合う

語り手 浜井和史先生
帝京大学総合教育センター 講師

種書 海外戦没者の戦後史 遺骨帰還と慰霊
浜井和史 著 (吉川弘文館 2014)

戦後70年、戦争は遠い昔の出来事となり、中には忘れ去られてしまったことが多くあります。たとえば「空の遺骨箱」は戦没者の遺骨を戦地にて回収できなかった際に、軍部から遺族に届けられたものです。遺骨の代わりに霊璽、遺髪や遺爪、戦場の砂や土などが収められた空の遺骨箱が届けられ戸惑いを隠せない遺族に、政府はどう向き合い遺骨収集や現地慰霊を行ってきたのでしょうか。今回は戦後史を研究されている浜井和史先生をお招きし、戦後処理の実態をお話頂きます。

2016年5月23日(月) 18:15 - 19:45

▼定員
15名
どなたでもご参加いただけます

▼場所
帝京大学八王子キャンパス
ソラティオスクエア3F アカデミックラウンジ
東京都八王子市大塚359 ※22階建の新校舎が目印です

▼アクセス
京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」からバス(桜87)で13分
京王線「高幡不動駅」からバス(高23)で10分
京王相模原線「京王多摩センター駅」からバス(多4)で14分
小田急多摩線「小田急多摩センター駅」からバス(多4)で14分
京王バス「帝京大学構内」停留所すぐ

▼お申し込み方法
bookcafe.terachi@gmail.com まで
お名前/ご連絡先/ご所属をお送りください
(当日参加もできます)

主催: 山田淳史 (慶應義塾大学政策・メディア研究科修士課程1年)

本ワークショップは、JST-RISTEX「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域平成27年度採択プロジェクト企画調査「多世代で共に創る学習プログラム開発の検討」(研究代表者: 森 玲奈 帝京大学高等教育開発センター講師)の一環として開催します。RISTEX

ブックカフェ

テラチ

「ブックカフェテラチ」は、毎月一回九十分だけ開店する見世(みせ)でありながら、そのときの時候や時事に合わせてお選びした本と、そこから生まれる会話を楽しむ催しでございます。一冊の本を存分に味わって頂くために、当店では「講義」と「談義」の二種のプログラムをご用意致しました。

前半の「講義」では、大学教員をゲストに招いた三十分のトークライブを行い、一冊の本を読み解きます。

後半の「談義」では、トークの内容を深め、新しい理解を進めるために、参加者の皆様と言葉を交えます。

聴くもよし、話すもよし、「テラチ」では会話が向かうとする『その道中』をお楽しみください。

実をいいますと、てらちの『ち』は道を意味する言葉です。古代日本語において『ち(路)』という言葉は、みち(道)を意味しておりました。てらちには『照らす道』という意味を込め、この店名を名づけました。道草が太陽に照らされ萌え出するように、一冊の本から芽吹く会話をお楽しみ頂ければ幸いです。